



## カートシートのパジショニング

カートシートのパジショニングは、難しいですが重要な作業です。ドライバーの体重は車両重量の半分を占めるため、その重量が適切な位置にない場合、カートはバランスを崩し、車両の調整が困難になります。多くのメーカーは寸法表を用意していますが、そもそもその情報を得た際に使用されたシートと全く同じ形状・サイズを使用していない限り、混乱を招く可能性があります。したがって、シャーシの適切なバランスを得るには、ドライバーの背中がリア・アクスルに対してどの位置にあるかを理解することが重要です。これらの解説は、平均的な70kgのドライバーにとって最も一般的な位置を得るためのものです。

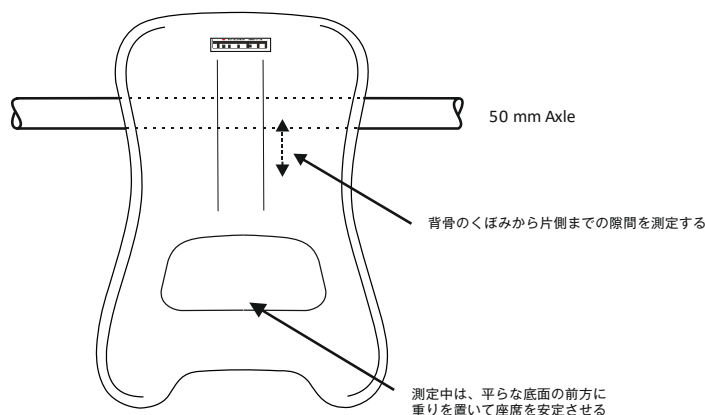
体格が小さい、あるいは大きいドライバーの場合は、妥協点となる位置を使用しなければならない場合もあります。

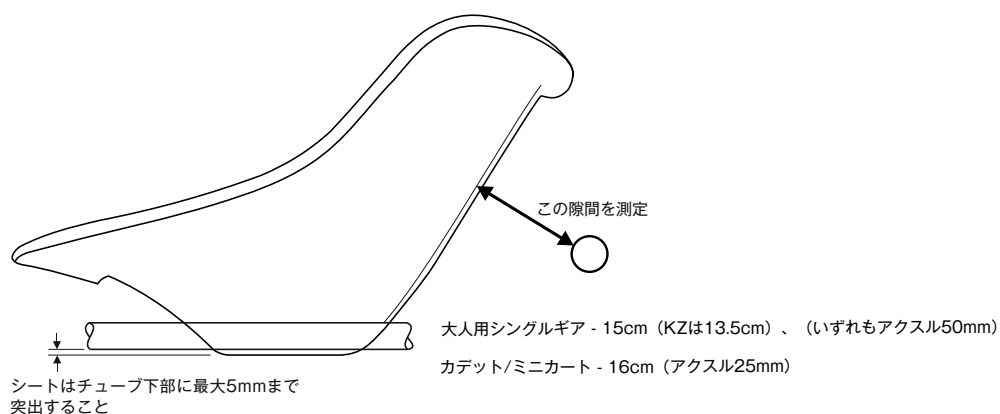
カートシートを正確に取りつけるには、カートスタンドに平らな木製ボードなどを置き、シャーシのチューブを木材から適切な間隔で配置して地面との距離を調整します。

（最高精度を求める場合はTillett T Board TRACKフィッティングジグを使用してください。）現代のシャーシでは、シートベースをチューブ下部に設定できる最大寸法は通常5mmです。この基準点情報が不明な場合は、適切なタイヤ空気圧でカートを非常に平坦な地面に設置してください。床面とシートベースの間に約15mmの隙間ができた状態で、シートがシャーシチューブ下部に突出する距離を記録します。

次に、木製ボードの上、またはT Board Trackフィッティングジグの上にシャーシを置き、シートを背もたれから取り付けます。この状態で固定すると安定し、理想的な位置を保持しやすくなります。（アドバイス：シート内部に重りを置くと安定性と直立性を保ちやすくなります。）ほとんどのシートは底面が平らなため、この角度を基準に設定するのが最適です。

シートフラットの高さ、と、下記に示す重要な「アクスルからドライバー背部までの寸法」の両方を使用することで、どのシートをどのカートに装着しても、ドライバーは常に後輪軸に対して全く同じ位置に配置されます。現在の平均的なシート位置（体重70kg・身長180cmのドライバー）は15cmですが、KZシャーシではこの寸法はさらに後方の13.5cmとなります。背の低いジュニアドライバーの場合は約18cmが適切です。





年式の古いカートでは、シートを車軸からより遠くに設定する必要があったことに留意してください。2005年以前の40mmアクスル径のシャーシでは約21.5cmの隙間が用いられ、2005年から2009年までの50mm径のアクスルを持つカートでは約18cmでした。カートが30mmまたは40mmのアクスルを持つ場合、この差を補正する必要があります。シート背面に多量の鉛ウェイトをボルトで固定すると、シート位置に影響を与える可能性があることにご注意ください。同一のバランスを得るためには、シートをより前方に位置させる必要があります。

- シートを所定の位置に設置したら、すべてのシートステーがシートと平行になっていることを確認してください。もし平らな金属タブが異なる角度に作られていたら、大きなモンキーレンチで曲げ、シート表面の角度と完全に一致するまで調整してください。



- ステータブは複合材に対して平行である必要があり、隙間はナイロンまたはアルミニウム製スペーサーで埋めても性能低下は生じません。ただし、ゴム製スペーサーは使用しないでください。これにより制御不能なたわみが生じ、エッジが破損するだけでなく、ボルトが実質的に緩んだ状態となり、シートがねじれるたびにボルトが前後運動することで、スロットが切れてシートが落下することになります。



- 穴の位置をマークするには、マーカーを使用するか、隙間が大きい場合は長いボルトの先端に塗料を少量付け、4本のメインステーを通してシートを動かさずにシートステーと垂直な位置に印をつけます。シートを取り外し、4箇所すべてを正確にドリルで開けてください。
- シートボルトを取り付ける際は、適切な厚さのスペーサーを使用し、シートが成形時の形状から歪まないようにしてください。シートを希望の位置に固定した後、ボルトを非常に強く締めてください。
- 大人用カートで柔軟なVGまたはVTiシートを使用する場合、追加のシートステーなしで4本のメインシャーシステーのみを使用するときは、メイン上部2本のステーにおいて、シートに対して「アルミニウム製ティレットTK7サポートプレート」をポップリベットで固定することが推奨されます。



- これにより、高速コーナーでのアンダーステアやオーバーステアを調整できます。アンダーステアの場合は前方に、オーバーステアの場合は後方に動かして調整します。なお、ホイール幅、シャーシ/アクスル/シートのたわみ、ステアリングジオメトリなどの他の要因がヘアピンカーブなどの急カーブでのハンドリングに影響を与え、この結果を目立たなくする可能性があることに留意すべきです。

- 追加のシートステーボルトの頭部は、シートの上端から離して取り付けてください。上側のエッジに近すぎる位置で固定すると、肋骨を傷つけたり、ハードシェル製リブプロテクターに負荷がかかる恐れがあります。TW1（Tillettのアルミニウム製皿ワッシャー）またはTillettのTLPK1ロープロファイルボルト&ワッシャーキットを、特にリブ周辺に使用してください。これによりボディの保護に加え、ハードなリブプロテクターがレーシングスーツを損傷するのを防ぎます。また、これらの部品は骨盤と大腿骨がシートに接触する部位から離して設置してください。



- シートはこれで所定の位置に固定されます。その後、追加のシートステーや必要な鉛ウェイトを取り付けることができます。側面と、脚の間のフロント下部にボルトで固定するバラストは、ナイロンワッシャーを用いてシートからわずかに間隔を空けてください。これにより、硬い鉛の周囲でシートが柔軟に曲がり、破損を防ぎます。また、フロント下部では鉛を弧状に曲げてください。これは複合材が成形時の自然な形状から崩れないようにするためです。

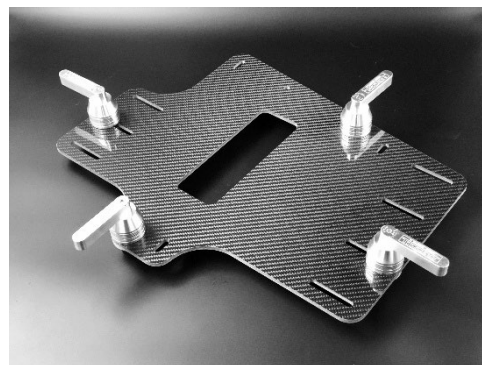
- 水道管やデータケーブルを設置する場合は、ケーブルタイ用の穴あけ位置がエッジから5mm以上離れていることを確認してください。エッジに近すぎる位置に穴を開けると、ひび割れの原因となります。

- カート性能に完全に納得したら、正しく装着したシートの位置を記録してください。「シートからアクスル面までの隙間」と「シート最下点の高さ」を記録します。特定のドライバー用の設定では、ティレットのエンブレム中心からステアリングホイール上部までの距離と、シート前端からペダルまでの距離を測定しておくといいでしょう。最後に、使用したシートのサイズ、形状、剛性を記録してください。雨天時の使用に備え、シート最下点に排水用の穴を2つ開けてください。これでトラック使用の準備が整います。

## **T Board Track**

T BOARDは、サーキットでのカートシートの取り付けを迅速化するために設計されました。

- あらゆるシャーシに完全に対応。
- シャーシを持ち上げずに素早く装着可能。
- バッテリーボックスや燃料パイプなどの障害物にも対応。
- 28mm、30mm、32mmのシャーシ径に対応可能。
- 左側エンジン用に上下反転して使用可能。



カートシートの取り付けは、メカニックにとって最も時間のかかる作業の一つですが、同時に正確に調整すべき最も重要な要素でもあります。これは、ドライバーが車両全体の重量の約半分を占めるためです。

したがって、シャーシ内でのシートの位置は毎回完全に把握して正確に調整する必要があります。シートがわずか5mmずれているだけでラップタイムは伸びる可能性があります。シート形状やサイズ、ドライバーの座り方の好みなど様々な要素を考慮すると、最適な位置の把握はさらに困難になります。

T BOARDは軽量かつ剛性の高いカーボンプレートと、4つの磁気式の高さ調整を行う棒状の部品を組み合わせています。これらの部品がプレートを正確な位置に保持し、シートの取り付け位置を決定します。これにより、数秒でシャーシに簡単に設置できます。

シートはその後、ボード上に設置します。T BOARDを用いて車軸から設置距離を正確に測定・保持することで、シートを毎回全く同じ位置に容易に装着できます。